



イルカの空中散歩



No308
担当:米満

～早朝の活気あふれる魚市場セリ見学～

皆さま、本日もご搭乗ありがとうございます。
照りつける陽射しに、いよいよ本格的な夏の訪れを感じる8月となりました☀️。夏祭りや花火、旬の味覚🍉を味わうなど、この季節ならではの楽しみもたくさんありますが、暑さ厳しき折、こまめな水分補給と休息をお忘れなく、穏やかで実り豊かな夏の日々をお楽しみください😊。

さて、今回私は少し早起きして、海風が気持ちいい天草で一番大きな魚市場「天草漁業協同組合 本渡支所」を訪ねてきました🐟。



天草は有明海、不知火海、天草西海、そして東シナ海に囲まれた海の恵み豊かな土地。ここでは一本釣りや流し網、小型底曳網、素潜り漁など約40もの漁法で約300種類にもものぼる魚介類が獲れる、まさに海の宝庫といえる場所です。

市場の一日はとても早く、まだ夜明け前の午前3時頃から新鮮な魚介類が次々と水揚げされ、市場へと運び込まれます。

市場に“ピピーーッ!!”と響き渡る笛の合図が鳴り響くと、一気に活気があふれ、競りがスタートします。



競りは「活魚セリ」と「鮮魚セリ」の2種類に分かれており、まずは7時から活魚セリが始まります。

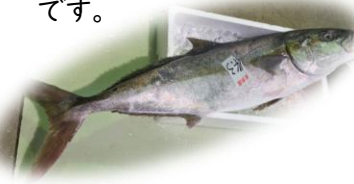


青い帽子をかぶった競り人、そしてエンジ色の帽子をかぶる仲買人が、生け簀の中を元気に泳ぐ魚たちを囲みながら、独特で威勢のよい掛け声をリズムよく繰り返して取引が進んでいく様子は、漁港のライブパフォーマンスそのものでした。



掛け声はあまりにも速く、まるで暗号のように聞こえ、初めて聴く人を驚かせる様相です。息つく暇もないほどのスピード感に、つい見入ってしまいました。

活魚セリの後、7時20分ごろから鮮魚セリが始まります。こちらはトロ箱に詰められた様々な魚介類が次々と競りにかけられ、仲買人と競り人の掛け合いもより一層活発です。



この日市場に多く並んでいたのは、天草の夏の風物詩とも言えるぶりぶりのタコ。そのほか鯛、「ヤー」と呼ばれるアイゴ、西日本では「バリ」とも呼ばれる魚が鮮やかな存在感を放っていました。それに加え、ヒラスやハモ、小イワシ、さらには養殖サーモンなど多彩な魚介たち、季節の恵みが並ぶ風景が広がっていました。



魚市場の見学は予約制で、事前の申し込みが必要ですが、ちょっと早起きして、爽やかな海の空気を感じながら、新鮮な魚介とこの活力あふれる地元の魚市場で、活気に満ちたセリのライブ感を体験してみたいはいかがでしょうか？



《問い合わせ》

天草漁業協同組合 本渡支所

☎ 0969-22-5141

🚢 熊本県天草市港町1-29

🐟 魚市場見学

🕒：平日6:00~8:00(セリ7:00~)

＊見学は前日までに要予約

天草の市場は豊かな自然の恵みが詰まった宝箱のようです。季節が巡るごとに新鮮な魚の顔ぶれが変わり、その時々を旬を感じることができます。

INFORMATION

天草エアライン 公式イメージソング!

日浦孝則 「プロペラプレーン」

軽快なプロペラのリズムにのせて、
空へのワクワクと、旅のときめきをあなたに。

この楽曲とともに、
「みぞか号」での空の旅を
お楽しみください。

AMX 天草エアライン

